

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C	令和4年3月11日
横断的な課題	令和元年東日本台風(台風第19号)災害からの再生					
地域重点政策	-					長野地域振興局
実施機関	長野地域振興局農地整備課			担当課	所属	農地整備課
事業名	農地防災施設に対する知識と理解の促進事業			電話	026-234-9517	
				E-mail	nagachi-nochi@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	農地防災施設(排水機場)の仕組みや役割を理解し、防災意識の向上を図る。				
	現状と課題	・長野管内の千曲川沿いには、26か所の排水機場(農政部所管)が整備されており、令和元年東日本台風においても被害の軽減や防止に大きな役割を果たした。排水機場は、点検・補修など日常的な維持管理やポンプ運転の管理者が待機していることで豪雨等による被害が軽減・防止されている。 また、その多くの施設は、築造から40年以上が経過し日常の補修では対応できないほどの老朽化が進行しており、公共事業による計画的な更新整備を行っている。 しかしながら、地域住民等には、その施設の存在、仕組みや役割、ポンプ運転の管理者の苦勞、公共事業による更新整備の必要性が理解されていない。 ・県内の多くの小学校第5学年で使用している社会科教科書の「低い土地のくらし」においては、他県の事例が紹介されている上、排水機場に係る解説が少なく当該施設の役割や管理者の苦勞、更新整備の必要性を理解することが困難である。				
要等	内容	小学校第5学年社会科教科書における「低い土地のくらし」を補完する副教材を製作し、排水機場がある地域の小学校の授業で活用する。授業で得た知識を家庭へ持ち帰り、排水機場の役割、管理者の苦勞、更新整備の必要性等を家族で話し合うことで防災意識が向上する。 製作に当たっては、小学校学習指導要領に基づき、知識等を習得させ、思考力や判断力を育むことができる教材となるよう、イラストや写真、マップを多く掲載し仕組みや役割を理解するように構成し、信州社会科教育研究会が監修する。 小学校の授業での活用促進を図るため、製作した副教材により社会科教員を対象とした出前講座を開催する。 社会科副教材製作 : 10,000部 配布小学校数 : 長野市、千曲市、須坂市、小布施町の排水機場がある地域の24校 出前講座の開催 : 1回				
	事業期間	令和3年4月1日		~	令和4年3月31日	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考	
	社会科副教材製作	製作・配布		341,000	委託料	
	合計				341,000	
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況
	千曲川沿いの排水機場流域にある小学校への配布 (なお、活用状況、成果等について、令和4年10月頃にアンケート調査を実施する予定。)			24校	24校	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成
事業実績・成果	小学校の授業での活用に向けて社会科教員への出前講座			1回	1回	
	・製作した副教材について、配布対象である24校を訪問し教頭先生等へ手交した。その際、「本年度は、外部講師として気象予報士を招いてハザードマップを学習した。令和4年度は、排水機場の学習を検討したい。」、「近くにある排水機場を見学したい。」、「デジタル教材があれば授業で使い易い。」など好評であった。(令和4年2月) ・上記の要望を踏まえ、プロジェクターを使った授業やオンライン授業で活用できるように、副教材のスライドを作成して県ホームページに掲載した。(令和4年3月7日) ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、小学校へ出前授業は実施できなかったが、次年度の授業における副教材の活用を促進するため、小学校社会科の教員(信州社会科教育研究会)を対象とした出前講座を開催した。(令和4年2月2日)					
今後の方向性	・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、小学校からの要請に基づく出前授業や見学会、市町村と連携して地域住民を対象とした防災学習会を開催する。 ・小学校での活用状況等について、アンケートを実施し意見を踏まえたフォローアップを行う。					